

白河城と長沼城



長沼城

慶長5年8月6日、『兼続書状』

兼続は、会津の清野助二郎へ会津へ帰るかも知れないと伝え。三成からの使者が来たことも伝えている。

白河城(小峰城)

芋川正親・平林正恒

景勝、6月10日、城の修理を指示「会津旧事雑考」

服部半蔵の活躍

慶長5年6月22日『譜牒余録』

服部半蔵が派遣。伊賀と甲賀の同心200人を同行。『徳川所家系譜』に那須衆が白河城大手門に礮(はいつけ)になっていたところを半蔵の手下が発見。

関山



慶長5年9月14日・15日、1度だけ戦いのあった白河市関山付近。家康方39人、上杉方173人戦死